



# ニュースレターくまもと NEWS LETTER KUMAMOTO

Vol. 136  
2026. 1

■ 発行:一般財団法人熊本市国際交流振興事業団 〒860-0806 熊本中央区花畠町4番18号(熊本市国際交流会館)  
■ Publisher:Kumamoto International Foundation(KIF)TEL:096-359-2121 / FAX:096-359-5783  
✉ pj-info@kumamoto-if.or.jp URL:<https://www.kumamoto-if.or.jp>

## ★CONTENTS★

P1 「世界と日本を変える力」 JICA 海外協力隊 60 年のあゆみ  
P3 熊本市におけるフェアトレードシティ認定更新  
P4 日本の在留資格の選び方

P5 ちょっと耳より情報「アフリカ絵本の寄贈、設置」  
P6 世界を知る 1「ジョージア共和国」  
P7 世界を知る 2「ボツワナ共和国」  
P8 電気設備改修に伴う休館、賛助会員募集

## 「世界と日本を変える力」 JICA 海外協力隊 60 年のあゆみ

JICA デスク熊本 国際協力推進員 尾上 香織



JICA 海外協力隊\*は 2025 年で発足 60 周年を迎えました。これまでに、延べ 99 力国に約 5 万 8000 人が派遣され、教育、保健・医療、農林水産などさまざまな分野で開発途上国の発展に寄与してきました。1965 年 12 月 24 日、JICA 海外協力隊の前身である「日本青年海外協力隊」の第 1 陣 5 人を乗せた航空機が、羽田空港からラオスへ飛び立ちました。それは海外の支援を受けながら戦後復興を進めてきた日本が、国際協力の舞台で新たな一步を踏み出した、記念すべき瞬間でした。

提供:JICA

初年度はラオスに続き、カンボジア、マレーシア、フィリピン、ケニアの 5 力国に計 29 人が派遣されました。その後、順次、派遣地域が拡大し、1990 年には累計派遣人数が 1 万人を突破。それまで青年海外協力隊だけだったボランティア派遣が、日系社会を対象にしたボランティア派遣やシニアを対象にしたシニア海外ボランティアもスタートしました。

2018 年には制度変更により、それまでの年齢による区分が廃止され、20 歳から 69 歳まで参加可能になると共に、JICA による海外ボランティアの総称が「JICA 海外協力隊」と改められました。2020 年には、新型コロナウイルス感染拡大の影響を受けて、全世界の隊員が一時帰国を余儀なくされましたが、その後順次再開。現在は 74 か国約 1,600 人が派遣中で、2025 年 11 月には累計派遣隊員数が約 58,000 人に到達しました。

JICA 海外協力隊の活動は現在、農林水産、保健・医療、社会福祉、商業・観光など九つの分野、170 以上の職種に広がっています。2016 年には、アジア地域の発展に貢献したことを評価され、「アジアのノーベル賞」とも称される「ラモン・マグサイサイ賞」を受賞しました。近年では、派遣前隊員が任意で参加する「グローカルプログラム」(日本国内の諸地域で地域活性化や地方創生などに取り組む実習)や、起業支援事業 BLUE、社会還元表彰など、JICA 海外協力隊経験者の社会還元を後押しするプログラムも実施されています。熊本県からもこれまでに、約 900 人以上の方が世界各国へ派遣されてきました。帰国後も、JICA 海外協力隊で得たものを生かしながら、世界や日本社会課題の解決など様々な方面で貢献されています。

【ご報告】 JICA 海外協力隊発足 60 周年記念協力隊まつり」を開催しました♪



昨年 10 月 12 日(日)、熊本市国際交流会館にて「JICA 海外協力隊発足 60 周年記念協力隊まつり」を開催しました。午前中は 6 階ホールにて、熊本県に縁のある地域おこし協力隊と JICA 海外協力隊の両協力隊によるシンポジウム(交流会)を行い、約 40 人が集いました。

地域づくりや地域活性化の活動において、それぞれの協力隊の活動が今どのように生きているかをテーマに、元 JICA 海外協力隊の宮海彦さん、中元縁さん、渡邊拓人さん、地域おこし協力隊の宮本茂生さんの両協力隊経験者による発表の後、会場からのご質問等を受けてトークが行われ、大変有意義な時間となりました。



午後からは、1 階にて両協力隊経験者や在住外国人によるマルシェの出店やステージ演奏、4 階各会場にて両協力隊経験者を講師としたワークショップや民族衣装体験、パネル展示などを行いました。会場内各所に設置したクイズラリーも好評で、たくさんの方にご参加いただきました。

マルシェには、ベトナムやインドネシア、ミャンマー、マラウイなど世界各国、小国町や産山村、玉東町などの熊本県内各地域の美味しい料理やゆかりの雑貨、特産品などがずらりと並びました。PR ブースでは、熊本県地域振興課様や FUNN(NGO 福岡ネットワーク)様による各取組のご紹介もいただきました。



4階の会場では、地域おこし協力隊、JICA 海外協力隊についての紹介のほか、JICA 海外協力隊経験者の現在の活動を写した写真展も実施しました。また、陶芸絵付け体験、チョコレート作り、トルココーヒーの淹れ方の各ワークショップもいずれもほぼ満員となる人気ぶりで、参加された方々はそれぞれの体験を楽しんでいました。

また、隔月で(一財)熊本市国際交流振興事業団と共に開催しているコラボカフェも、2か国をテーマに同日開催。元パナマ隊員の宮海彦さんは、パナマでの協力隊としての活動やご自身の生き方についてお話されました。参加者はパナマコーヒーを飲みながら宮さんのユニークなお話を聞き入っており、終了後も絶えず質問をされていました。



元マラウイ隊員の渡邊亜美さんによるマラウイのお話とシマ作り体験・試食では、途中オンラインで現地のマラウイ人とつないで話を聞く場面もあり、現地を存分に味わえる時間でした。当日は熊本市国際交流会館主催のオクトーバーフェスト(ドイツビールのお祭り)や、外国人向け日本文化体験も同時開催されたこともあり、約 350 人以上の方にご来場いただき、大変な賑わいとなりました。



高校生ボランティアや熊本市国際交流会館サポートボランティアのみなさんにも多数お手伝いいただいたことで、新たなつながりも生まれる機会になったと思います。両協力隊をはじめ、世界と熊本のつながりや両協力隊の魅力を存分に味わい体感いただけた 1 日となりました。

半世紀以上を経て、国際協力のあり方も少しづつ変化していますが、昔も今も変わらずそこにあるのは、人ととのつながりだと思います。国籍や宗教などに関係なく、草の根レベルで人同士がつながり合うことで新たな力を生み出すことができる、それが JICA 海外協力隊かもしれません。

これまで JICA 海外協力隊事業を支えてくださった皆様へ心より感謝申し上げます。これからもあたたかく見守っていただくとともに、熊本から世界へ笑顔の輪を広げてみたい!という方の勇気ある一步もお待ちしています。

\*JICA 海外協力隊…国際協力の志を持った方々を開発途上国に青年海外協力隊等として派遣し、現地の人々とともに生活し、異なる文化・習慣に溶け込みながら、草の根レベルで途上国が抱える課題の解決に貢献する事業。開発途上国からの要請(ニーズ)に基づき、それに見合った技術・知識・経験を持ち、「開発途上国の人々のために生かしたい」と望む方を募集し、選考、訓練を経て派遣。

参照(一部引用):世界と日本を変える力に JICA 海外協力隊 60 年 | ニュース・広報 - JICA

[https://www.jica.go.jp/information/topics/2025/p20251113\\_01.html](https://www.jica.go.jp/information/topics/2025/p20251113_01.html)



## 熊本市におけるフェアトレードシティ認定更新について

この度、令和 7 年(2025 年)8 月 25 日に、本市は一般社団法人日本フェアトレード・フォーラムから、フェアトレードシティとして4回目の認定をいただくことができました。平成 23 年(2011 年)6 月にアジア初・日本初、世界で 1000 番目のフェアトレードシティに認定されてから、今年で 14 年目を迎えます。これも日頃からフェアトレード活動に携わっておられる民間団体をはじめ、フェアトレードの理念にご賛同いただいている企業、市民の皆様方のご尽力の賜物であり、深く敬意を表します。

以来、平成 26 年(2014 年)には、欧州以外では初開催となる第8回フェアトレードタウン国際会議が本市で開催されるなど、熊本市民のみならず、日本や世界に「フェアトレードシティくまもと」の存在をアピールしてまいりました。その後も令和 3 年(2021 年)11 月には、フェアトレードシティ認定 10 周年記念イベントとして「フェアトレード国際フォーラム 2021 in くまもと」の開催や、令和 5 年(2023 年)2 月には、ドイツ・ハイデルベルク市との友好都市締結 30周年記念シンポジウムにおいて、ハイデルベルク市長をお迎えし、「フェアトレードシティとして実践する SDGs」をテーマに基調講演を行いました。

また、市民にフェアトレードを身近に感じていただくフェアトレードマルシェについては、平成 28 年(2016 年)から毎年開催しており、今年で 10 回目の節目を迎えるなど、長年に渡り民間団体の皆様方と連携しながら、多くの市民への普及、啓発を図っているところです。

令和 6 年(2024 年)3 月には、本市のフェアトレードシティとしての活動を持続可能なものにするため、市民、行政、企業、小売店、学校などの地域の多様なステークホルダーから構成される「フェアトレードシティくまもと協議会」が設立され、本市も構成員の一団体として参加しています。今後はまちぐるみでのフェアトレード活動を推進していくため、関係団体との連携強化や協議会ホームページの開設、フェアトレード活動をサポートして下さる賛助会員の募集などに取り組む予定です。

引き続き、熊本市は、国際貢献や人権尊重の精神、さらには人道的見地から、フェアトレードの理念周知に努めるとともに、協議会構成員やフェアトレード推進団体の皆様方と「フェアトレードシティくまもと」としての活動に鋭意取り組んでまいります。

熊本市国際課



左証は熊本市国際交流会館  
1F リンクカフェにて設置して  
います

## 日本の在留資格の選び方を知ってほしい

行政書士真重法務事務所 特定行政書士 真重 正仁氏

私は、『外国人の在留資格』、『帰化』、『国際相続サポート』を専門にしている行政書士です。今回は、外国人や、外国人をサポートしている方々、外国人を雇用している方々に知ってほしい『在留資格の選び方』について特に知ってほしいことをお伝えしたいと思います。大手海外企業の熊本進出に伴い、多くの外国企業と多くの外国人社員が熊本県内に拠点を構えるようになりました。これらの方々からの質問でよく聞くのは、次のような内容です。

「許可が取りやすい在留資格を教えてください。」

「早く許可がもらえる在留資格は何ですか？」

「申請書にどのように書けば在留資格の許可がもらえますか？」など

しかし、在留資格の基本的な考え方を理解すると、これらの質問が、実際にはそれほど重要なことではないことがわかります。

### 1. 在留資格とは？

日本の在留資格は大まかには約 30 種類ありますが、その内容を細かく検討すると実際には 100 種類以上存在しています。(それらの在留資格をジャンルで分けると、「働く在留資格」「働いてはいけない在留資格」「身分に対して与えられる在留資格」の 3 類型です。)

このうち実際に外国人に与えられる在留資格は一人につき一つだけとなっています。

ここで皆様に確認してほしいのは、日本の在留資格が「外国人が日本で行う活動内容」「外国人の身分」に応じてその種類を分けられているということです。

### 2. 在留資格の選び方は？

外国人に最適な在留資格を選ぶには、以下の手順で検討することが大切です。

- ① 「外国人が日本で行う活動内容(又は身分)」がどのような内容なのかをしっかり確認する。
- ② 上記①で確認した活動内容(又は身分)に適した在留資格を選ぶ(※数種類該当する場合もある)。
- ③ 申請外国人又は所属機関等が上記②で選んだ在留資格の許可基準を満たしているか精査する。
- ④ 最終的に申請できる在留資格があるか否か判断する。

### 3. 入管局では何を審査している？

入管局が外国人の在留資格の申請に対して審査している項目は、大まかにいうと以下の通りです。

- 外国人が日本で行おうとしている活動(又は身分)はどのような内容か？
- 外国人が日本で行おうとしている活動(又は身分)に適している在留資格で申請されているか？
- 外国人又は所属機関等が申請された在留資格の許可基準を満たしているか？
- 申請した外国人に在留資格を与えても問題なさそうか？

### 4. その在留資格を維持できる？

上記 3. を経て無事に在留資格が許可されて在留カードをもらったとしても、課題はこの後であることに注意しなければなりません。

入管局は、申請書に記載された活動内容(又は身分)に対して許可を与えているのですから、「申請書に書かれた活動等」を実際に行っているのか否かについて特に興味があります。もし、申請内容と異なる活動をしていることが判明した場合は、在留資格を取り消されたり、在留期間更新許可申請において不許可になったりします。

## 5. 何が大切？

- ◆ 日本で行う活動内容(又は身分)について正確に把握して在留資格を選択する。
- ◆ 在留資格の申請書に記載した内容通りの活動等を実行する。
- ◆ 活動内容等を変更する場合は、変更後の活動内容に適した在留資格に変更する。

以上のように、在留資格の許可を受けるうえで最も重要なことは「許可が取りやすい在留資格」「早く許可がもらえる在留資格」「申請書にどのように書けば在留資格の許可がもらえますか?」などを検討するのではなく、「日本で実際に何をやるのか」「その活動内容等に適した在留資格が入管法に存在するのか」を検討することです。

実際にやらないことを申請して在留資格を許可されたとしても、その後の「取消」「期間更新の不許可」につながります。外国人を雇用する会社等が虚偽申請を疑われたら、その会社で外国人を雇うことが非常に困難になる場合もあります。

今回、このようなテーマを取り上げたのは、熊本で数年間同一の企業で働いていた外国人や、他県から熊本の企業へ転職してきた外国人の在留期間更新許可申請が不許可になる案件が増えていることを耳にするからです。それらの多くが、活動内容と在留資格が不一致であることが理由とされています。最も注意すべきは「申請書にどのように書くのか」等ではなく、「実際に何をするのか」「活動内容に適した在留資格は何か」について正確に申請することです。もう一度、身近な外国人の活動内容等と在留資格をご確認ください。

### ちょっと耳より情報！

#### 熊本県立大生によるアフリカ絵本の寄贈および設置について

熊本県立大学 3 年の谷岡奈央さんたちが共同で制作された絵本「ドアを開けると」を寄贈いただきました！  
谷岡さんなど大学生 4 名で結成された団体 Kitabu(スワヒリ語で「本」の意)のみなさんは「日本の子どもたちにアフリカについてもっと知ってほしい！」「絵本を作つて届けたい！」という思いで活動を開始。クラウドファンディングにて支援を呼びかけ、今年 5 月に絵本が完成しました。日本の子どもたちがアフリカ地域について自由に感じ、考えるきっかけになるような絵本となっています。色鮮やかでかわいらしいタッチの絵と、小学生でも読みやすいような表現で、どなたでも楽しみながら学ぶことができる 1 冊です。

2 階交流ラウンジ奥の JICA 関連図書コーナーにおいています。ぜひお手にとってご覧ください。





## 世界を知る 1 「ジョージアは親日の国」

本稿では「世界を知る」をテーマに JICA(独立行政法人国際協力機構)デスク熊本や、国際交流、国際協力分野で活躍している方、海外で生活している方々の協力を得て、日本で生活する私たちが日ごろ、知ることが出来ない世界の興味深い話を紹介します

JICA海外協力隊 日本語教育(ジョージア派遣) 内田 梨沙さん

トビリシ風景



2023年から2025年まで2年間、アジアとヨーロッパの間に位置するジョージアに日本語教育隊員として派遣され、首都トビリシにあるイリア大学で日本語を教えていました。

ジョージアは日本での認知度がまだ低い国で、初めて国名を聞く人も多いかもしれません。日本と同じ四季があり、春には桜の花に似たアーモンドの花が咲いてとてもきれいです。

夏は、日本と違いカラッと乾燥した暑い日が続き、秋はジョージアの特産品であるワインの原料、葡萄の収穫が各地で行われます。冬にはコーカサス山脈や世界百名山にも数えられるカズベキ山の周辺エリアには雪が積もります。

ジョージアといえばワインが有名です。ワインの発祥地とされ、約8000年も前からワインが作られていました。クヴェブリという大きな土器を地中に埋め、その中で葡萄を発酵させて作るのがジョージアの伝統的なワインの製法です。ワインに合う美味しい料理もたくさんあります。

数年前にSNSで話題になったシュクメルリや、ジョージア人のソウルフードであるチーズたっぷりのパン、ハチャブリや餃子を丸くした形のヒンカリという食べ物です。イースターやクリスマスなどのジョージアのお祝い事にはワインとこれらの食べ物が欠かせません。レストランでも手頃に食べたり飲んだり、お店で買ったりすることができますが、今でも多くの家庭がワインも食べ物も一から手作りしています。



ジョージアは親日の国です。首都トビリシには日本食レストランがたくさんあります。ラーメン屋や寿司屋、カレーライスやおにぎりの店もあります。最近では、日本の食材やお菓子を取り扱う店もできました。

ジョージア人にとって日本食は身近なものになってきています。また日本食だけでなく、日本文化に興味を持っている人も大勢います。道を歩けば日本語や日本のアニメのキャラクターが描かれているTシャツを着ている人をよく見かけますし、私が日本人だとわかると「こんにちは」と日本語で話しかけてくれる人もいます。

私が配属されていたイリア大学では、毎年約20名の学生が日本語の授業を履修しています。日本語学習の動機は様々で、アニメや漫画など日本のポップカルチャーに興味を持ち、日本語を勉強し始めた学生や、アジアの言語を勉強したいと日本語を選んだ学生もいます。授業では、可能な限り「リアルな日本」を感じほしいと考えていたため、教科書の日本語だけでなく、日本人が普段の会話で使うような略語や若者の間で使われている日本語も紹介したりしました。また、日本語の勉強だけでなく、書道や折り紙、浴衣の着付け体験など日本文化紹介にも力を入れました。初めて筆を使い生き生きと豪快に文字を書く学生や、浴衣を着てポーズをきめ楽しように写真を撮る学生の姿を見て、嬉しい気持ちになりました。大学で日本語を勉強している学生の中には、卒業後に日本へ留学したいと考えている人たちもいます。そんな学生たちのためにこれからもJICA海外協力隊が日本語学習のサポートや日本文化の紹介を続けていかなければならないと感じています。ジョージアには日本が大好きな人がたくさんいます。日本でもジョージアという国が今以上に認知されて興味を持ってくれる人が増え、日本とジョージアの交流がもっと活発になることを願っています。



ハチャブリ



## 世界を知る2 「ボツワナに在るもの」

海外協力隊 2022年2次隊 垣谷 沙知(もくたに さち)

2022年10月～2024年10月 ボツワナ派遣 職種:コミュニティ開発



2025年9月に東京で開催された世界陸上。男子4×400mリレーで強豪国に競り勝ち、パリ五輪に続き金メダルを獲得。その歴史的快挙に國中が沸き立ち、国民の祝日まで設定された国。それが今回ご紹介する「ボツワナ共和国」です。

南部アフリカに位置するボツワナは、1966年にイギリスから独立しました。世界最大級の内陸デルタであるオカバンゴデルタをはじめ、カラハリ砂漠やマカディカディ塩湖など豊かな自然に恵まれ、多様な野生動物が息づく国です。気候は、灼熱の雨季と、極端に雨の降らない乾季に分かれます。そのため、雨(現地語で Pula)は「恵み」そのもの。国旗の青色や通貨の単位にも採用され、尊い祝福の象徴として大切にされています。食文化は、トウモロコシやソルガムを炊いた主食に、青菜の炒め物とお肉を添えるスタイルが一般的で、価格は250円程度です。



経済面では、ダイヤモンドの輸出が政府歳入の約3分の1、輸出総額の約80%を占め、中所得国に分類されます。が、ダイヤモンド価格の下落などにより実質GDP成長率は鈍化しており、高い失業率と貧困率の改善が急務となっています。現在、政府はモノカルチャー経済からの脱却と経済の立て直しを最優先課題に掲げ、産業の多角化を推進しています。

私はそんなボツワナで、JICA海外協力隊として2年間活動し昨年帰国しました。現地の生活では文化の違いに戸惑うことも多くあり、特に「分かち合う」文化が印象的でした。私の周囲の人々は、食べ物や空間に加え、仕事から感情まで多くのものを周りと共有していました。その根底には、「誰もが平等であること」を大切にする考えがあるようでした。

現地の活動では、政府機関である地域開発課で小規模ビジネス支援に携わりました。住民の収入向上を目指し、業務受託のスキーム作りや特産品のマーケティング支援を実施しました。食品製造業と連携し、住民に果物の採取から加工の一部を委託する事業では、小規模ながらも官民連携で説明会から支払いまでを実現できました。しかし道のりは険しく、同僚や住民との目標合せには非常に苦労しました。試行錯誤しながらも共に作業し、成功も失敗も分かち合い、感情を共有して信頼を積み重ねる。そのプロセスこそが課題解決には不可欠だと痛感しました。

ボツワナの国歌に「团结と調和を通し私たちはひとつになり、平和であり続けるだろう」という一節があります。周囲と分かち合い、頼り合い、支え合う。そんなシンプルで大切な教えを、私は彼らから学びました。地域に支えられ、共に挑戦できたこの経験を、ありがとうございます。



私は現在、これらの経験を原点に「ビジネスを通して社会課題の解決」を目指し、日本企業の海外進出支援に携わっています。

真っ青な空と深い影、地平線に沈むオレンジの風景、そこで笑う人々との試行錯誤の日々。ボツワナの地に思いを馳せながら、私の立場から国際協力のバトンを繋いでいきたいと思います。

### ボツワナ共和国

面積：約58万km<sup>2</sup>（日本の約1.5倍）

人口：計252万人（熊本の約1.5倍）

言語：ツワナ語・英語



## 【重要なお知らせ】電気設備改修工事に係る全館利用停止について

日頃より熊本市国際交流会館をご利用いただき、誠にありがとうございます。今年度の計画として電気設備の改修工事を予定しており全館停電作業になることから、下記の期間中のホール並びに会議室利用の受付を停止することとなりました。ご利用予定の皆様にはたいへんご不便をおかけしますが、皆様のご理解とご協力を賜りますようよろしくお願ひ申し上げます。※なお、施設利用はできませんが、電話、メールでのご相談は通常通り受付けております。

利用停止場所： 熊本市国際交流会館 全館

利用停止期間(予定): 令和8年(2026年)1月27日(火)～3月6日(金)まで

※工事に伴い、当該期間中のホール並びに会議室の利用は出来ない為ご予約は受付できません。

乡☆ 2025 年度 賛助会員募集！ ☆乡

事業団では賛助会員を募集しています。私どもの活動にご理解とご支援をいただくとともに、更なる国際交流や国際協力の輪が広がることを願っています。会員の方々には事業団の機関紙「ニュースレターくまもと」の送付や様々な情報の提供をさせていただきます。ご協力いただける方はお手数ですが下記連絡先までお問合せいただけますようお願い申しあげます。

《個人会員》一日 2,000 円 《団体会員》一日 10,000 円

私たちは熊本市の国際交流活動を応援しています。団体会員のみご紹介いたします(五十音順、敬称略)

一般社団法人熊本市医師会、一般社団法人熊本市造園建設業協会、医療法人城南ヘルスケアグループ、医療法人創起会くまもと森都総合病院

医療法人博麗会のぐち皮ふ科、学校法人聞新学園、学校法人君が淵学園、熊本学園、株式会社いけだ、株式会社キューネット

株式会社くまもと KDS グループ、株式会社構造計画研究所ホールディングス、株式会社スパークリング、株式会社セイラグロース、株式会社珠郎

株式会社南栄開発、株式会社 PARA-SQL、株式会社ビーボーン、国保水俣市立総合医療センター、熊本県行政書士会、熊本赤十字病院、熊本日独協会

熊本曰米協会・公益財団法人阿蘇火山博物館・久木文化財団・公益財団法人熊本市シルバー人材センター・社会医療法人愛育会福田病院

社会医療法人奉量会 熊本機能病院、社会福祉法人恩賜財団清生会熊本病院、大功宝建、独立行政法人国立病院機構熊本医療センター

## ◇◇事業団 SNS のご紹介◇◇

事業団SNSのご紹介～事業団が使っているSNSをご紹介します！是非アクセスしてみてください～

Instagram		Facebook			X(旧Twitter)	YouTube	相談プラザ
メイン	外国人向け	メイン	外国人向け	相談プラザ			



《お問合せ・連絡先》

一般財団法人熊本市国際交流振興事業団

熊本市中央区花畠町4番18号(熊本市国際交流会館)

(休館日)第2・第4月曜日、年末年始(12月29日~1月3日)

(TELE)096-359-2121 (FAX)096-359-5783

✉ pi-info@kumamoto-if.or.jp

URL:<https://www.kumamoto-if.or.jp>